

## ウェルビーイング・プラザの創生に向けて

衆議院議員 伊藤信太郎

21世紀の命題は何でありましょうか。それは縦割りの物質的社会から、水平的な心の融合社会へ移行することではないでしょうか？

社団法人宮城県歯科医師会が中心となって仙台市青葉区国分町で進めようとしているは正にそれを具体的に実現するものです。「人は誰でも幸せになりたい、そしてできることなら他者の幸せにも貢献したい」この人間がもつ崇高なアイデアを現代社会の仕組みや様々な規制が阻害してきました。それを打ち破り新たな発想で福祉・保健・教育・情報・環境景観ゾーンを創出し、市民が誰でもおのこの必要と能力と自発的意志によって利用し参画できる複合施設を創設します。超少子高齢化の時代、子育て支援、高齢者福祉、口腔ケアは重要であります。これらの機能を統合的に持つプラザを創設することにより、多くのシナジーが生まれ、住み良い街、安心して暮らせる社会が形成されます。そして緑を配した屋上庭園を造ることによって心地よい環境・景観をもたらすと同時に園芸療法の実施も可能となります。また創設するギガビットクラスの情報ブースは教育のポータルサイトとして各種の遠隔教育に、また行政のワンストップサービスにも使えます。そして都心型24時間サービスの保育所は社会的ニーズの高い市民待望の施設であります。21世紀の進むべき方向性はどうしたら限られた資源を有機的・有効に再構築して幸せを生み出す最大の「価値」を生み出せるかの知恵比べの競争であり共生であります。

夢と希望と可能性の溢れた「**ウェルビーイング・プラザ構想**」に対し是非皆様のご賛同を賜りたく存じます。そしてともに素晴らしい未来を創出できれば幸いです。